



つながぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和6年3月15日
第34号
江別市教育委員会
総務課・学校教育課

コミュニティ・スクールで漢字検定…文京台小学校 ～小・中学生、大学生、保護者等、30名が参加～

1月20日に文京台小学校運営委員会主催の漢字検定が実施されました。文京台小では、令和元年度からコミュニティ・スクール（CS）学校支援部の事業として漢字検定を行っており、今年度も1回目の学校運営委員会の熟議の中で実施することが決定されました。

今回は、地域の小学生、中学生、大学生、保護者の方32名が参加申込を行い、当日は30名の方々が受検しました。文京台小では、北翔大学の教職員の方々がCSの学校運営委員となっており、大学内の地域連携センターの協力を得て大学生に参加を呼びかける等、地域との連携を図った取組を進めることができました。参加された皆さんは日頃の研鑽の成果を発揮しようとして真剣に問題に取り組んでいました。

今回の実践のように、文京台小CSは、発足当初から地域・PTAと連携した行事や見守り活動等を行い、「地域とともにある学校」づくりを進めています。



漢字検定を受検する文京台地区の子どもたち



大学生や保護者の皆さん

中学校登校を重ね、4月の入学に向けて自信を持つ ～江別第二中学校区…第3回中学校登校 つながいを大事にして～

江別第二中学校区の3回目の中学校登校の取組が1月19日（金）に行われました。江別第二中学校区は、1小1中で、小学校と中学校が隣接している中学校区の特徴を生かし、年間3回の小学6年生の中学校登校を計画し、徐々に在校時間や体験授業数を増やしながらい子どもたちが中学校の雰囲気になじみ慣れていくように工夫しています。今回は、中学校の先生による国語科、英語科、音楽科の授業を受け、さらに、小学6年生と中学1年生合同の総合的な学習の時間を行いました。

また、国語科と英語科は今年度初めての体験授業であったので、子どもたちは興味を持って学習に取り組んでいました。

音楽科は、これまでも中学3年生との合同授業で校歌を学んできており、何度も歌ってきました。きっと4月の入学式では、先輩たちと一緒に校歌を歌うことができるでしょう。

また、総合的な学習の時間では、中学校区の系統的な指導として行っている「SDGs」に関する探究学習の成果を小学校6年生が発表する活動を行いました。中学1年生は、6年生の発表内容等に対してよいところや改善に向けたアドバイス等をしていました。この合同授業は、昨年度から行われており、現在の中学1年生は、昨年度、調べて発表する側でしたので、今回のアドバイス等は、内容が的確で小学生にとってとても参考になるものでした。

江別第二中学校区は、平成29年度から小中一貫教育モデル校区として実践を進めてきており、目指す子ども像の達成に向けて常に取組内容のアップデートを行っています。



中学校の教室で中学校の先生の授業を受ける



音楽の合同授業で先輩の歌唱を聴く



SDGsに関する探究学習の成果を発表する小学6年生



中学生がお手本を示す

実践の成果や課題の交流・共有を図り、次年度につなげる ～2月6日(火) 第2回 江別市小中一貫教育担当者会議～



挨拶をする黒川淳司教育長



特徴的な取組を発表する江陽中学校区

2月6日(火)、市内の小中学校の担当者が一堂に会し、今年度の各中学校区の小中一貫教育の実践についての交流を行いました。

昨年度の反省をもとに改善・充実を図った取組や他の中学校区の取組を参考にして新たに取組んだ実践等、各中学校区の

児童生徒の実態や地域性、学校規模、学校間距離等を踏まえた特色ある取組がたくさん行われました。また、目指す子ども像とサブ目標の達成状況や児童生徒の自己肯定感の高まり等、小中一貫教育の成果についても共有を図りました。

各中学校区では、既に次年度計画も立案しており、今後、年度末・年度始めの引継ぎをしっかりと行った上で4月からの新たな実践に取り組んでいくこととなります。



次年度に向けて協議をする第一中学校区